

そ きょうりゅう
国道沿いに恐竜

年 組 名前

まつかわまちかみかたぎり よねやまたかあき ぞう なら
松川町上片桐の国道153号沿いに、米山孝昭さんが作った恐竜の像が並び、
通り掛かる人の目を引いています。なぜ恐竜なのか、記事を読んでみましょう。

①米山さんは、だれに喜んでもらおうと恐竜の像を作り始めましたか。今は、何体ありますか。

だれに〔 〕 何体〔 〕

②米山さんが作った恐竜の像について、（ ）に入る言葉を書きましょう。

大きく口を開けて今にも相手に飛び掛かりそうなのは（ ）
の（ ）、前に突き出た（ ）が特徴なのは
（ ）。（ ）が長い（ ）
は、子どもなら座れるほどの大きさだ。

③1体仕上げるのに、何日ほどかかるのでしょうか。

④米山さんのモットーは、何ですか。また、恐竜の像を作り続けることで、子どもたちに何を持ってほしいと話していますか。

モットー〔 〕

子どもたちに持ってほしいもの〔 〕

⑤米山さんは現在、アンキロサウルスという恐竜の像を制作中です。どんな恐竜なのか、恐竜図鑑などで調べてみましょう。

松川町の国道沿いに恐竜？

建築家の米山さん 孫思い像制作



恐竜の像を前に笑顔を見せる米山さん

松川町上片桐の国道153号沿いに、モルタル製の恐竜の像が並び、通り掛かる人の目を引いている。作ったのは

近くに住むログハウス建築家の米山孝昭さん(65)。恐竜ファンの孫に喜んでもらおうと1年前から作り始め、自宅敷地内に置いている。「孫と恐竜の話をするのがエネルギー

」だといい、像はもう5体になった。

大きく口を開けて今にも相手に飛び掛かりそうなのは肉食のアロサウルス、前に突き出た角が特徴なのはトリケラトプス。首が長いブラキオサウルスは、子どもなら座れるほどの大きさだ。参考文献は恐竜図鑑。中川村に住む小学1年の孫実樹人君(6)も、恐竜の体の特徴などについて「解説」してくれる。「孫の方がずっと詳しいから」。1体仕上げるのに1週間から10日ほどかかるという。

木彫りやチェーンソーアートでも多くの作品を残してきた米山さんのモットーは「想像から創造へ」。作り続けることで「子どもたちに夢を持ってほしい」と願っている。現在、6体目のアンキロサウルスを制作中だ。

(2021年8月29日朝刊・地域面〈南信〉)

そ きょうりゅう
国道沿いに 恐竜

解答例

年 組 名前

まつかわまちかみかたぎり よねやまたかあき ぞう なら
松川町上片桐の国道153号沿いに、米山孝昭さんが作った恐竜の像が並び、
通り掛かる人の目を引いています。なぜ恐竜なのか、記事を読んでみましょう。

①米山さんは、だれに喜んでもらおうと恐竜の像を作り始めましたか。今は、何体ありますか。

だれに〔 恐竜ファンの孫 〕 何体〔 5体 〕

②米山さんが作った恐竜の像について、（ ）に入る言葉を書きましょう。

大きく口を開けて今にも相手に飛び掛かりそうなのは（ 肉食 ）
の（ アロサウルス ）、前に突き出た（ 角 ）が特徴なのは
（ トリケラトプス ）。（ 首 ）が長い（ ブラキオサウルス ）
は、子どもなら座れるほどの大きさだ。

③1体仕上げるのに、何日ほどかかるといいますか。

【答え】 1週間から10日ほど

④米山さんのモットーは、何ですか。また、恐竜の像を作り続けることで、子どもたちに何を持ってほしいと話していますか。

モットー〔 想像から創造へ 〕

子どもたちに持ってほしいもの〔 夢 〕

⑤米山さんは現在、アンキロサウルスという恐竜の像を制作中です。どんな恐竜なのか、恐竜図鑑などで調べてみましょう。

【答え】 略